

KOCHI ROTARY CLUB

2020
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3442回
第3443回

2020年10月20日

2020年10月27日

2020年11月10日発行

● 会長挨拶



皆さんこんにちは。先週の篠原ガバナーの訪問に際して、心温まる歓迎をしていただき本当にありがとうございました。私も、ガバナーにお会いしたのはPETS、DTTS以来で、一見おっかない感じですが、実際にお話すると大変フランクで気さくな方です。ガバナーアドレス及びクナークRI会長のメッセージは、週報に掲載しています。

私が印象的だったのは、私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきかを問いかけている点です。そこでちょっと気になる数字があります。「ロータリーの友」の10月号に地区別クラブ数、会員数一覧表があります。7月末現在、全国34地区の会員数8万6,352名、前年同期は8万8,935名で2,583名(約3%)の減少。一昨年は8万9,218名。2016年も約8万9,000人。2670地区も3,039名から2,972名、67名(約2%)の減少。34地区の

うち33地区が減少。たった一つ秋田県2540地区だけが1名増加です。これもコロナの影響があるのかなと思います。

この減少は一時的なもので、早く回復してもらいたいと思います。しかし、ロータリーは決して縦社会の組織ではありません。トップがいて大增員計画を命令するといったものではなく、あくまでも各クラブが自分たちのクラブが5年先、どういうクラブでありたいかを念頭に置き、自主的に会員増強を図っていくべきものだと思います。

高知クラブも、一時退会者が続き84名になったことがありましたが、現在は87名まで回復し、早晚何名かの入会予定も進んでいます。私は当クラブが何名ぐらいが適当かは分かりませんが、ベテラン、中堅、若手、大企業の支店長、女性会員を含む多様性に満ちたクラブ。特に地元で活躍されている有能な方の入会を期待しています。

本日の卓話は、皆さんご存知の濱長のおかみさんの濱口さんです。私も時々お伺いして、踊りを踊ったり、その写真を持ち帰ると家内に変な顔をされたりしています。お話を楽しみにしています。



■本日のプログラム [11月10日]

ゲストスピーチ

嶋崎ファーム 代表 嶋崎博子氏
「土佐ジロー養鶏を通して地域貢献」

会	長	中	村	裕	司
副	会	長	入	交	章
幹	事	関			雅
副	幹	事	中	澤	清
会	報	責	任	者	隅
					田
					和
					稔

10月20日 例会

● ロータリーソング「四つのテスト」



● 幹事報告



- ・ガバナー公式訪問へのお礼状が届いています。
- ・来週は18時半から三翠園にてクラブ創立83周年の夜間例会を行います。親睦委員会でコロナ対策を含め尽力されていますので、多くの出席をお願いします。
- ・11月の例会から三翠園さんの方で透明の衝立を準備していただきましたので、円卓に戻します。フロントは南側の温泉側に移っています。駐車券は事務局にて受け取ってください。
- ・サインメイキャップも温泉側の入り口で行ってください。

● ゲストスピーチ

土佐の伝統文化を守り紡ぐ

料亭瀆長女将 濱口 実佐子 氏

私が女将をしている料亭瀆長は、私の祖父・八朗と祖母・千代子が昭和12年に始めた、おでん屋瀆口が最初です。第2次世界大戦で祖父が不在中も祖母がのれんを守り、戦後再び夫婦できりもりをし、多くの方々の応援をいただいて料亭へと成長しました。そののれんを受け継いだのが、現在の女将である私の母と女将の私です。



平成13年、官官接待の廃止などのあおりを受け、料亭瀆長は幕を下ろすこととなりましたが、6年の空白の後、平成19年11月、新たな瀆長としてオープンにこぎ着けます。6年の空白はありますが、瀆長は、現在で創業83年の歴史があります。83年も続けてこられたのは、多くの皆さまのご愛顧や応援はもちろんですが、祖父の代から続くおもてなしの心を大切にしているからだだと思います。祖父は近所で困った人がいると、考えるより先に「わしが何とかしちやろう」と、行動をするような人だったそうで、この何とかしちやる精神は、今でも瀆長のおもてなしの軸になっています。

瀆長のおもてなしは、大きく三つに分かれます。

まず帳場です。ホテルでいうフロントの役割ですが、予約からお客様のお席の内容をお伺いし、その思いに沿ったご提案をして準備します。当日は、女将を先頭に帳場が司令塔となってスタッフ全体を指揮していきます。来店後は再度ご利用いただけるよう、お礼のお電話やお手紙などを送ったりと、料亭の頭脳の部分を取り仕切るのが帳場です。

次に調理場、料理人です。料理長がリーダーとなってスタッフに指示を出し、お客さまに提供します。素材選び、仕込み、味付け、器選びに盛りつけ。料亭は料理がおいしくないと始まりません。料理人は料亭の心臓といえます。

三つ目はサービススタッフです。料理やお飲み物を運ぶのは当たり前。お客さまと直接接してお話をするのも大切な仕事です。料理やお飲み物の詳しい情報も知識としてお客

さまに紹介します。また、お客さまのご要望に合わせて芸妓や仲居が土佐の伝統芸能を披露して、お座敷遊びなどで一緒に楽しんでいただきます。料亭の顔といったところでしょうか。

料亭の起源は諸説ありますが、一般的には西暦1700年の終わりごろ、江戸にいた諸藩のお留守居役が、幕府との接待に利用していた2軒のお留守居茶屋だと言われています。また江戸時代、京都八坂神社近くの東山地区のお茶屋さんで、料理を運んでいた女性が歌舞伎を真似て三味線や踊りを披露するようになったのが芸妓の起源と言われており、それがお留守居茶屋のおもてなしと合流したと言われています。

そして、長い長い時間の中で少しずつもまれて、角が取れ、磨かれて今のような料亭のスタイルに辿り着いたのだと思われませんが、その時代、時代に、やはり廃りがあり、さまざまに変化をしています。例えば着物の着方なども、時代によって全く違います。江戸時代は帯を下に結んで緩い感じに着ていたのが、明治時代はちょっとおしゃれっぽく、帯の位置がグリーンと上に上がって、子どものような着方をしています。

おもてなしの文化は各地方に広がり、その土地の歴史や文化と合流してお座敷文化として熟成していったのではないのでしょうか。土佐のお座敷文化もその一つです。芸妓もはちきんと呼ばれる土佐の女性になると、京都や江戸と違ったカラーになって当然です。土佐芸妓は高知弁でこじやんと喋って、一緒にお酒を楽しみながら、はし拳やべく杯などで盛り上げて、歌や舞、よさこい節など郷土の民謡をもとにしたおもてなしをします。

日本の文化は情緒的だと言われています。俳句や短歌には季節の景色を詠い、心情を込めたものがたくさんあります。また、日本語は子音と母音をはっきりしており、小唄、長唄、詩吟などは母音を伸ばして歌います。その母音が人の情緒を刺激するのだそうです。料亭には、このような情緒を刺激する日本文化がいたるところに散りばめられています。

こうして日本のおもてなし文化は、時代とともに少しずつ形を変えながら、寄り添ってきたのですが、昭和の高度成長期以来、急速な西洋化によって日陰に追いやられてしま



いました。そして今、情緒的な刺激が少ないがために起こっている事件も少なくないように思います。子どもの泣き声がうるさいと死に至らしめた父親に、秋の虫の音を美しいと思う心が育っていたら、赤ちゃんの泣き声も愛おしく思えたのではないのでしょうか。

今年は新型コロナウイルスの影響で、お店も喜べる状態ではありませんが、人間は長い歴史の中で饑餓や疫病、戦争などで何度も窮地に立たされながら、その度に乗り切って現在に至っています。その子孫である私たちが乗り切れないわけがありません。今商いにとっては冬の時季です。この冬が過ぎ去るのを心静かに待つのも、日本人の持つ力ではないかと思えます。お店のことを見直したり、世の中の動きを見て、お役に立てることがないかといったことをじっくり考える時間をいただけたように思います。

すると不思議なことに、瀨長のオリジナル商品を作ってみませんかとお声がかかり、この度、瀨長は梅昆布茶を作りました。さらに、83年間守りつがれてきた料亭の味の出汁パックを、祖父母の名前を足して八千朗出汁と名付けて販売

します。伝統を守ることは大切ですが、昔をそのまま守るだけでは駄目だと思います。八千朗出汁も創業当時の出汁をそのまま再現しても今の時代には合わないと思いますが、祖母がこしらえた出汁の味をおいしいと思っていただけた、その感動がイコールであればそれが伝統を守ることだと思います。

最後に、私が大好きな、京都の半兵衛麩の11代当主・玉置半兵衛さんの言葉をご紹介します。「老舗ではなく、新舗（しんみせ）であれ。老舗とは店が老うと書くが、店が老いてはいけない。進化を止めてしまったらそこで終わり。店は新舗でいきなさい」古きを大切に、新しきも知る。温故知新の精神で、まさに、私が伝統文化とはこうあるべきだと思うところに通じている言葉です。瀨長が新舗であり続けるために、祖父の「何とかせんといかん」のサービス精神を受け継ぎながら、今を生きる人たちに喜んでいただけるおもてなしをし続けていきたいと思えます。そして、次の世代に料亭瀨長のバトンをしっかり渡していくことが、これからの私の仕事だと思っています。



10月27日 クラブ創立83周年記念夜間例会

● ロータリーソング「奉仕の理想」

● 会長挨拶



皆さんこんばんは。本日は火曜会の皆さん、燦燦奨学生の皆さん、ようこそ私どもの夜間例会にお越しをいただきありがとうございます。

当高知ロータリークラブは、1937（昭和12）年の10月2日に発足し、同じ月の29日にRIに承認をされております。ですから今年が83歳の誕生日ということになります。83年間というのは大変なことだろうというふうに思います。大体いろんな任意の組織とか、グループとかクラブとかいうのは、創るときにはなにか盛り上がるのですけれども、その内に栄枯盛衰があつて年齢がたってしまったたり、後継者がいなくなったりして、いつか縮小や撤退に追い込まれるようなケースも多いと思えますけれども、このクラブの歴史を見ますと年々着々と会員の数も増えてきております。

ピーク、昭和の最後のころに現在と同程度の80何名から90名の人数に達して、なおかつ俗にいう平成の失われた20年とか30年とかいう間もずっとこの規模、会員数を維持しております。これは単なる私たちが親睦団体であるだけではなくて、みんな一人一人が職業を通じて世の中の役に立とうよとか、四つの誓いでありますとか、そういった高い理想を持ったもつともつといいクラブにしていこうという先輩達の努力が、今日に繋がっているんだろうというふうに思います。

そして、今年はこのコロナ禍であります。考えてみますと2月のIMの打ち上げのときにみんなで懇談の席がありましたが、それ以来、4月の合同夜間例会も6月のあじさい夜間例会も中止となつてしまい、考えてみると、このクラブでの夜間例会ということになると、遡って去年の忘年夜間例会以来ということになります。今回三翠園さんの方でも最大限の感染防除の手段を講じていただき、このように皆さんと一緒に夜間例会を楽しめることを本当に幸せに思います。

普段は何となく窮屈な中でなんですが、本日はやがて第2部になりましたら、皆さんマスクもとっていただいて、久しぶりにどんな顔してるか元気な顔をお互いに見て、ぜひ懇談の場を広げていただきたいと思います。



● お客さま

◎火曜会・・・中村美津子様 中澤佐紀子様

◎燦燦奨学生

10期生 掛水 胡里さん (高知工科大学 経済・マネジメント学群)

11期生 山本航太郎さん (高知工科大学 環境・理工学群)

11期生 清水 楓恋さん (高知大学 人文社会科学部)

12期生 大崎日南子さん (高知県立大学 文化学部)

13期生 宮本 奏さん (高知大学 医学部看護学科)



● 幹事報告

・来週の例会は祝日で休会です。

● パストガバナースピーチ

関 裕司 パストガバナー

皆さんこんばんは。先ほど会長から話がありましたようにこのクラブも83年だということですが、私の誕生日が1943年2月24日で77歳、このロータリーより6歳若いということです。私は79年8月、36歳ちょっとでこの会に入会してますのでもう41年になります。人生の半分以上ロータリーで、古さからいうと西山俊彦会員、尾木謙三会員、高橋淳二会員、それから休まれてる福島清三会員、その次の5番目なんですよね。年齢では11番目ですが、それでも相当古い。ですから、こういう何周年ということがあると、やっぱり出ざるを得ないということと、パストガバナーという肩書がついてるように、世界大会も行ってますし、サンディエゴでガバナー研修も受けて、地区内の74クラブ全部訪問しています。その他、何周年行事とかいうのもいっぱい出てるわけですからロータリーについては、この中では一番いろんな意味で経験が深いし、知識はあるだろうと。ロータリアンとして相応しいかどうかとは全く別の問題ですが。



私はニッポン高度紙という会社にいました。僕の前の社長が岡田 盛さん、西クラブの会員ですけども非常に勉強熱心な読書家で、生産性本部などで研修があるとすぐ申し込んで二人で行くということをやりました。その研修で、たまたま旭食品の竹内三兄弟と一緒になったときにJCに誘われたんです。あんまり熱心に誘われるもんで社長に相談すると「そういうもんはやめとけ、わしがええとこ紹介しちゃお」と言って入れられたのがロータリーでした。紹介者は久松潤一郎さんになっていただき、久松さんからは入会のときは「伝統と格式のある高知ロータリークラブに入会させていただいて誠に光栄です」と挨拶するように言われました。最近そういう挨拶をされる新入会員の方はおりませんね。もう伝統と格式も過去のものになっているんだと思います。

新入会員は大体親睦委員会に入りますが、私は親睦委員会の経験はないんです。というのは、入った途端に、多分西山俊彦さんだったと思いますが、「お前は英語ができるらしいから」といきなり国際奉仕委員会に入って、GSE (ロータリー財団ビジネスマンの研究グループ交換・グループスタディエクスチェンジ) の世話などをさせられて、親睦委員会には所属しないまま40年間きてしまいました。

まず、腹ごなしに藤田洋子会員の持つてるメモが気に入ったんで紹介します。18歳と81歳の違いというやつで、中々いいことを書いています。

人生につまずくのが18歳、小石につまずくのが81歳
道路を爆走するのが18歳、道路を逆走するのが81歳
知らないことが多いのが18歳、

忘れたことが多いのが81歳

自動車の免許が取れるのが18歳、

自信がなくなり返納するのが81歳

人の言うことを聞かないのが18歳、

人の言うことが聞こえないのが81歳

人生の甘い辛いが分からないのが18歳、

食事の甘い辛いが分からないのが81歳

金がないのが18歳、

金があっても使い道がないのが81歳

学校で友達に会うのが18歳、

病院で友達に会うのが81歳

大音量で音楽を聴くのが18歳、

テレビの音が大音量になるのが81歳

ロータリーの話もしないといけないでしょうから、少し話をさせていただきます。

現在、2670地区の74クラブ、会員数約3,000人。2680地区で2,700人。岡山・鳥根・鳥取の2690地区は大体3,000人。日本全体では34地区、2,247クラブ。ロータリアンは86,000人、世界では今120万人といわれています。ロータリーのいいところはこのバッチを付けた途端に、世界中に120万人の友人ができるということです。

四国の74クラブ中、一番古いのは今治RC。高知より3年早い1934年に創立。日本で13番目。続いて徳島RCが1935年4月に創立。高知ロータリーは日本で33番目。たまたま地球33番地と同じ、高知ロータリーにとっては33という数字は意味のある数字だということ覚えておいていただければと思います。7月のガバナー月信によると、四国で一番会員数が多いのは高松RCで90人。2番目が高知南RCで87人、高知RCは85人になってますが、今後88人ぐらいになる予想です。

私は、ガバナーはRIの使用人だといつも言ってますけども、ガバナーは4県で持ち回りですので、高知県出身のガバナーは柳澤ガバナーまでで13人。そのうち高知ロータ



リーは6人出してます。あと南、東、それから北クラブは掛水さんが2回やっていますので、2人出したと。それから西クラブが1人ということで、高知クラブが断然多いということであります。

私は高知ロータリーが大好きです。なぜかという、雰囲気非常にいい。どうしてもこういう会では、古い会員が新しい会員に親分風を吹かすようなところがありますが、高知は80年間 1度もない。例えば、私も商工会議所会頭の西山利平さん、四銀の頭取の吉村真一さんといった方々と例会で一緒になりましたが、全然堅苦しくない。そういう雰囲気が高知ロータリーには伝統的にあって、これが私の大変好きなおところでもあります。

今、世界のロータリーは私ふうに言わせると墮落しつつあるということ。RIは会員を増やそう、収入を上げようということしか考えてない。ルールである定款・細則もどんどん緩やかになっている。緩やかというのは私に言わせると墮落の方向だと思います。例会は毎週定刻に決められたところで行われなければならないとなっていますが、今は毎週じゃなくていい、月に2回やればいい。メイキャップも前後2週間だったのが、1年間有効だと。そんなもん管理できませんよね。事程左様に墮落しているといえます。

私は16年の規定審議会のときシカゴへ行ってきました。

1週間缶詰でルールを審議するのですが、例えば定款の変更を申し込みます。日本のクラブなんか厳しいですから厳しいルールを出すわけです。そうすると、会場に世界中から集まった規定審議委員がボタンを押します。210対いくらかで否決と出るんです。会費値上げというのが出る。賛成の方は拍手をお願いします。誰も拍手しませんよね。まあパラパラパラと。それでも賛成多数と認めますとなる。そういう感じですね。私は諸悪の根源はこれだと思っていますが、今RIは、事務局長が影の会長になっている感じです。RIの会長は世界中から毎年選ばれて、1年で変わりますから事務局長が偉いんです、やっぱり。全てを握っているのは事務局で、事務局長がRIを私物化するという感じになっていくと思います。

私はいつも例会のとき、この鞆を持ってきます。中身は、クラブ計画書、2670地区の会員名簿、2019年手続き要覧、ルールブックですね。それから地区の概況、それとこれだけは知っておきたいロータリーの基礎、ロータリアン必見研修資料、これをいつも見ているというのは嘘です。普段は見もしません。ただ一応何かのときのために持ってるということです。

ちょうど時間になりましたので、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。



11月のお祝い

- | | | | | | |
|----------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (会員誕生日) | 末松 史朗
荒井奈々絵 | 高橋 明子
各会員 | 正延 知行 | 日和崎 守 | 筒井 善樹 |
| (配偶者誕生日) | 君波 令子
福島やすの | 中澤佐紀子
末松和希子 | 中山 智子
各会員配偶者 | 芝藤 由賀 | 千頭美弥子 |
| (結婚記念日) | 磯村 康志
宮田 速雄
中山 智裕 | 広末 幸彦
海治 勝彦
杉本芙美子 | 細田 長司
中田 由季
上野 里美 | 安藤 一臣
千頭 邦夫
福島 清三 | 松崎郷一郎
君波 真
入交 章二 各会員 |

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	11月11日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	11月12日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	11月13日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	11月17日	ロータリー休日(旭)
高知中央RC	11月19日	職場例会(城)	高知北RC	12月 7日	職場例会(三)
高知中央RC	12月17日	夜間例会(城)	高知西RC	12月18日	忘年夜間例会(三)
高知北RC	12月21日	クリスマス夜間例会(三)	高知 R C	12月22日	忘年夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	12月22日	夜間例会(旭)	高知東RC	12月23日	夜間例会(阪)
高知南RC	12月24日	夜間例会(阪)	高知中央RC	12月24日	ロータリー休日(城)
高知西RC	12月25日	ロータリー休日(三)	高知北RC	12月28日	年末休み(三)
高知 R C	12月29日	年末休み(三)	高知ロイヤルRC	12月29日	年末休み(旭)
高知東RC	12月30日	年末休み(阪)	高知南RC	12月31日	年末休み(阪)
高知中央RC	12月31日	年末休み(城)			

※例会会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱 【10月20日】

- 中澤 陽一 今日の例会場は新阪急、とつぶやきながら会社を出たのですが、気がつくと白洋パーキングに車を止めていました。前から歩いてきた三翠園の松村さんが駐車場の無料券をくれましたのでニコニコします。
- 中澤 清一 妻の誕生日に素敵な花をありがとうございました。
- 岡 亮助 妻の誕生日に素敵な花をありがとうございました。ニコニコ!
- 古谷 純代 10月12日はコロンブスがアメリカ大陸を発見した日です。結婚記念日が同じ日であることを、昨日テレビ高知の朝番組で知り驚きました。祝っていただきありがとうございます。
- 藤田 洋子 一昨日の33会、南高戦で久しぶりに尾木会員と一緒しました。南クラブのご長老お2人と4人で楽しく回りました。尾木会員33会へお帰りなさい!これからお元気でいつまでも一緒してください。
- 荒井奈々絵 先日の第63回南高戦お疲れ様でした。私事で恐縮ですが、自己ベスト更新できました(とは言っても、まだまだ下手なのですが・・・)とっても嬉しかったのでニコニコいたします。

◎ 33会 例会を開催いたしました

10月18日に恒例の南高戦と33会が開催されました。
747.4対704の大差で我が高知RCが勝利し、通算成績は33勝28敗2引分になりました。
33会の優勝はいつも安定したスコアの仙石さんでした。



南クラブ代表の谷相良一様から関バスターガバナーに最近復活した伝説の優勝帽を授与



あれれ・・・自然に左に傾いてしまう??



理由は勝利ごとにパッチが付けられてます。右は南クラブ



そして左は我が高知クラブ勝利数の多い左に自然と傾いてしまいます(笑)
次回も大勢の参加をどうか宜しくお願い致します。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月20日	(-10)87	54	12	11	84%
10月 6日	ロータリー休日				

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月27日	(-13)87	47	19	8	74%
10月13日	(-7)87	62	9	9	88%

● 累計額 [10月27日現在]

ニコニコ箱	284,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	82,548円	ポリオ募金	88,200円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	---------

■ 次週のプログラム [11月17日]

ゲストスピーチ
(一財)ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団
理事長 扇谷 ちさと 氏
「ドリーム夜さ来い祭り・20年の道のり」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>